

# 形:AUR455-BU を使用する際の 注意事項

アズビルトレーディング株式会社

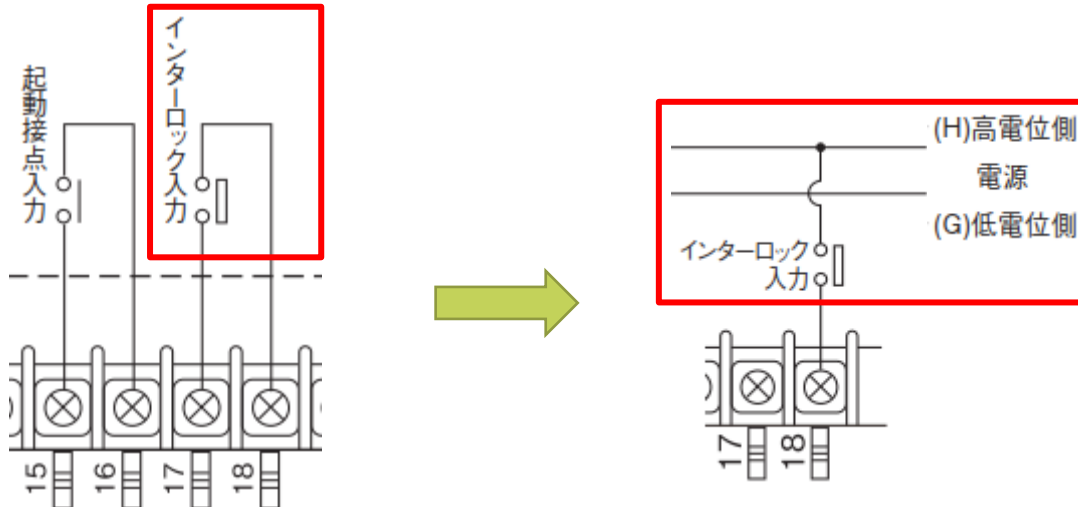
**azbil**

© Azbil Trading Co., Ltd. All rights reserved.

# 事前既設回路の確認

※形：AUR455-BUの外部で改造が必要な場合があります

## ①起動接点入力とインターロック入力の下図の場合

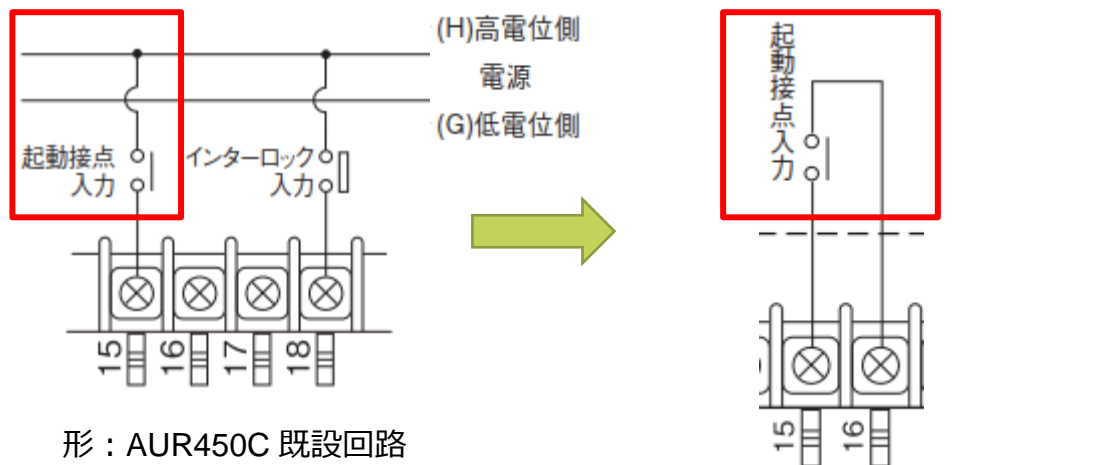


形：AUR450C 既設回路

形：AUR455-BU 回路

インターロック入力の17番端子側を電源の高電位側に接続してください

## ②起動接点入力とインターロック入力の下の図の場合



形：AUR450C 既設回路

形：AUR455-BU 回路

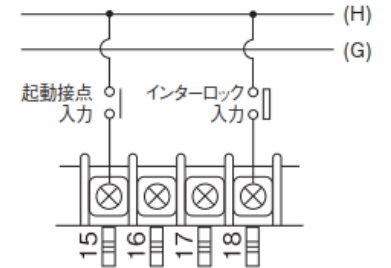
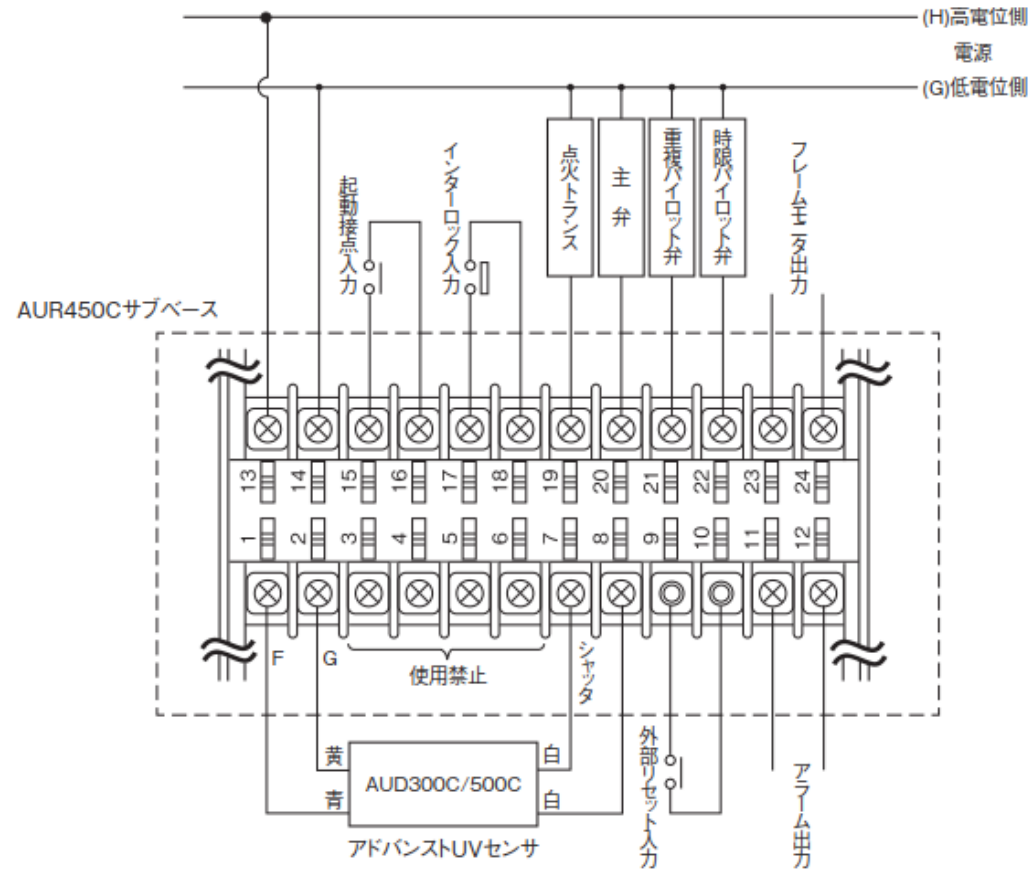
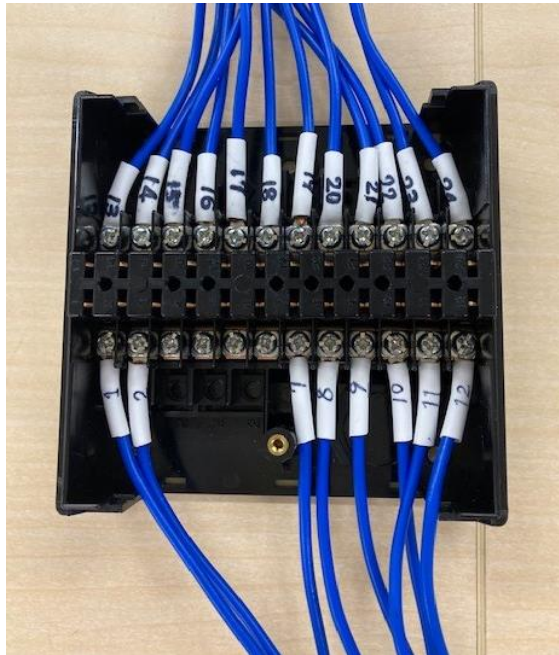
起動接点入力の電源接続側を外し端子接続できるように変更してください

### ※注意

電源側に接続されたままで更新ベースに接続すると形：AUR455が故障します

実際の回路変更は、6頁の段階で実施します  
事前準備をお願いします

# 1. 既設形 : AUR450Cの取り外し



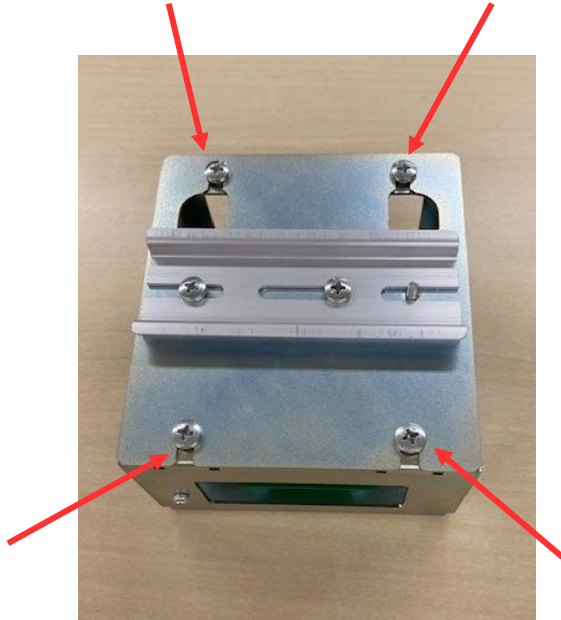
※起動接点入力とインターロック入力は、このパターンもあります

既設形 : AUR450Cのサブベースの配線を端子台から取り外し、サブベースを盤から取り外してください

※後で線番が判るように記録する、または写真を撮っておくことをお勧めします

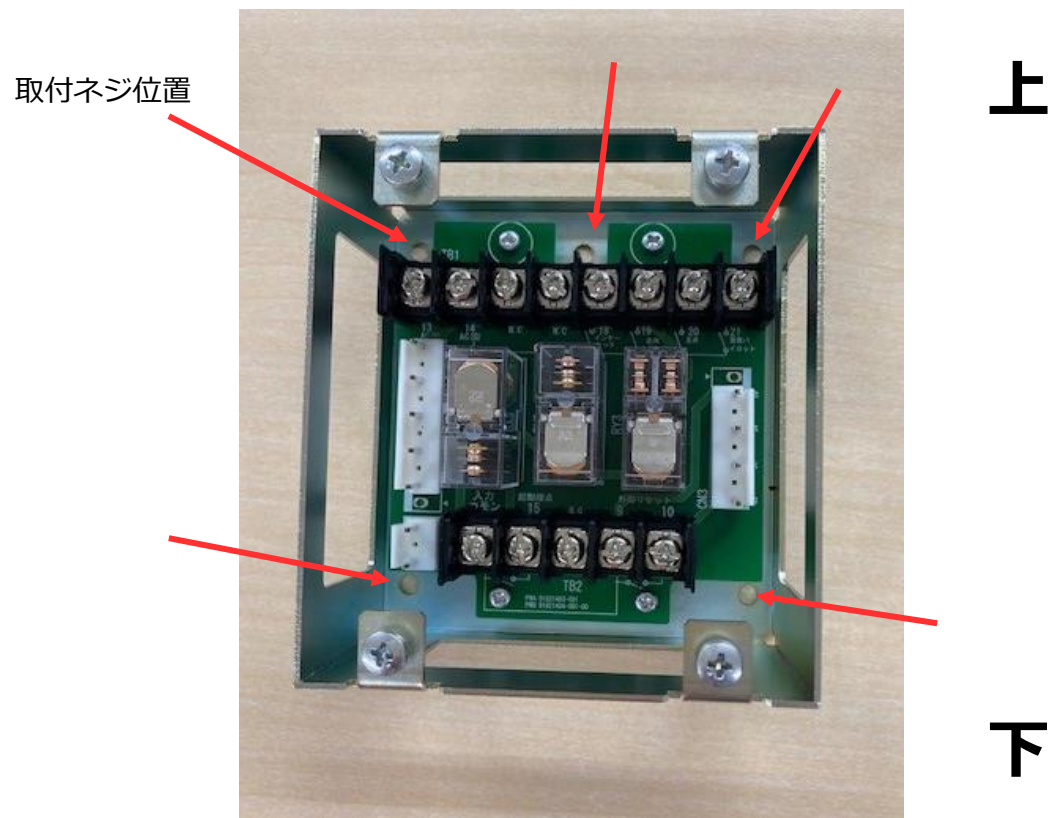
## 2. 形 : AUR455更新用ベースの準備

---



- ・カバー取付ネジ4本を緩めて、カバーを上にはずらし、外してください（ネジは外さないでください）
- ・リレーの上に端子カバーの入った袋が貼り付けてありますので無くさないように保管してください

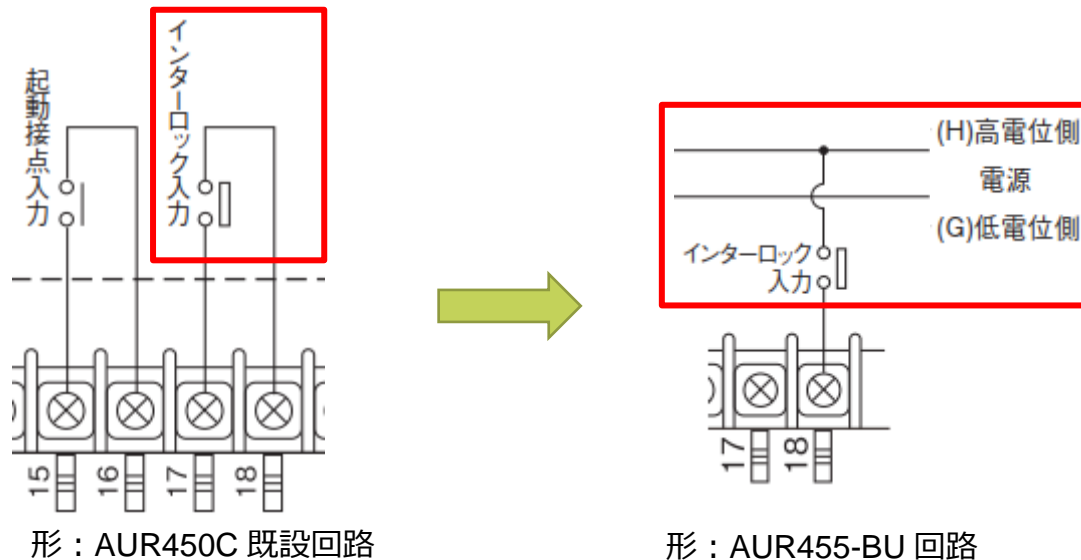
### 3. 配電盤に更新用ベースを取り付ける



- ・ 形 : AUR450Cを取り外した後に更新用ベースを取り付けて下さい、寸法・取付ネジ位置5ヶ所は同じです
- ・ 逆さま取付に注意してください

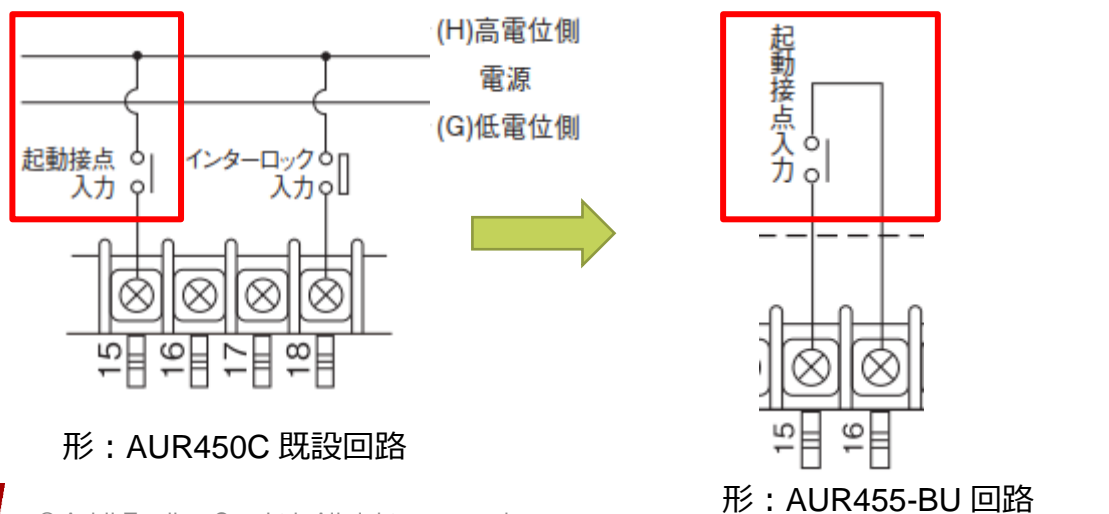
## 4-1. 既設回路の変更 ※2頁 事前回路確認事項で該当する場合があります

### ① 起動接点入力とインターロック入力が下図の場合



インターロック入力の17番端子側を電源の高電位側に接続してください

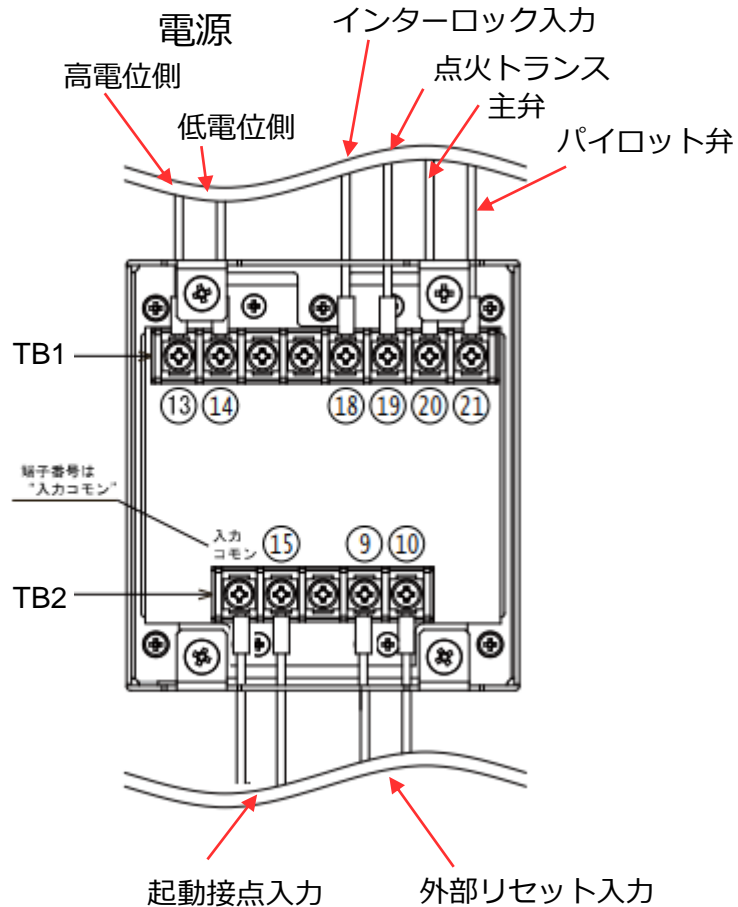
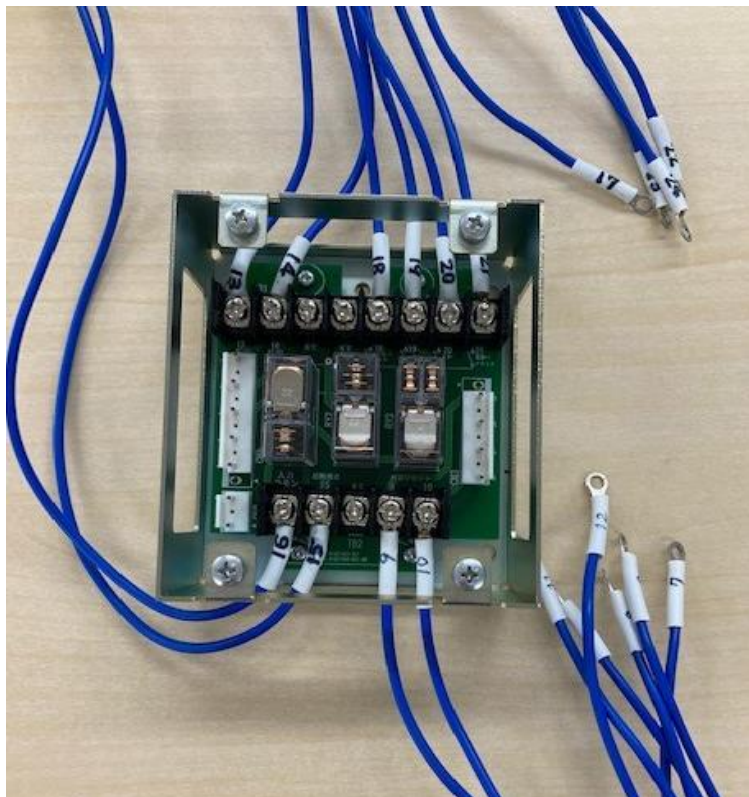
### ② 起動接点入力とインターロック入力が下図の場合



起動接点入力の電源接続側を外し端子接続できるように変更してください

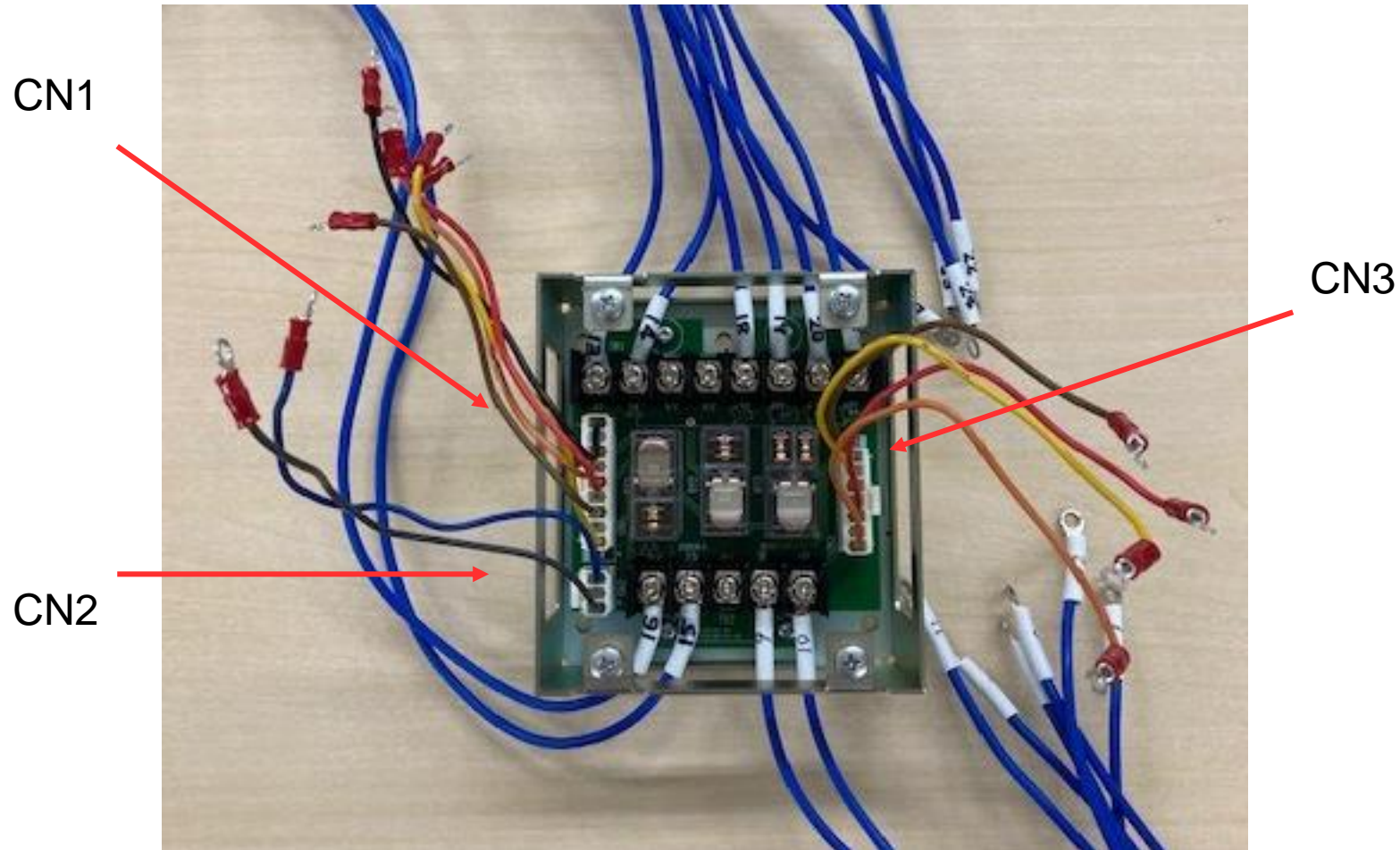
**※注意**  
電源側に接続されたままで更新ベースに接続すると形：AUR455が故障します

## 4-2. 外した電線を端子台に配線する



- ・ 形 : AUR450ベースから取り外したケーブルを、AUR455更新用ベースの端子台TB1、TB2に配線します

## 5. ケーブル組立品のコネクタをベースのソケットに差し込む

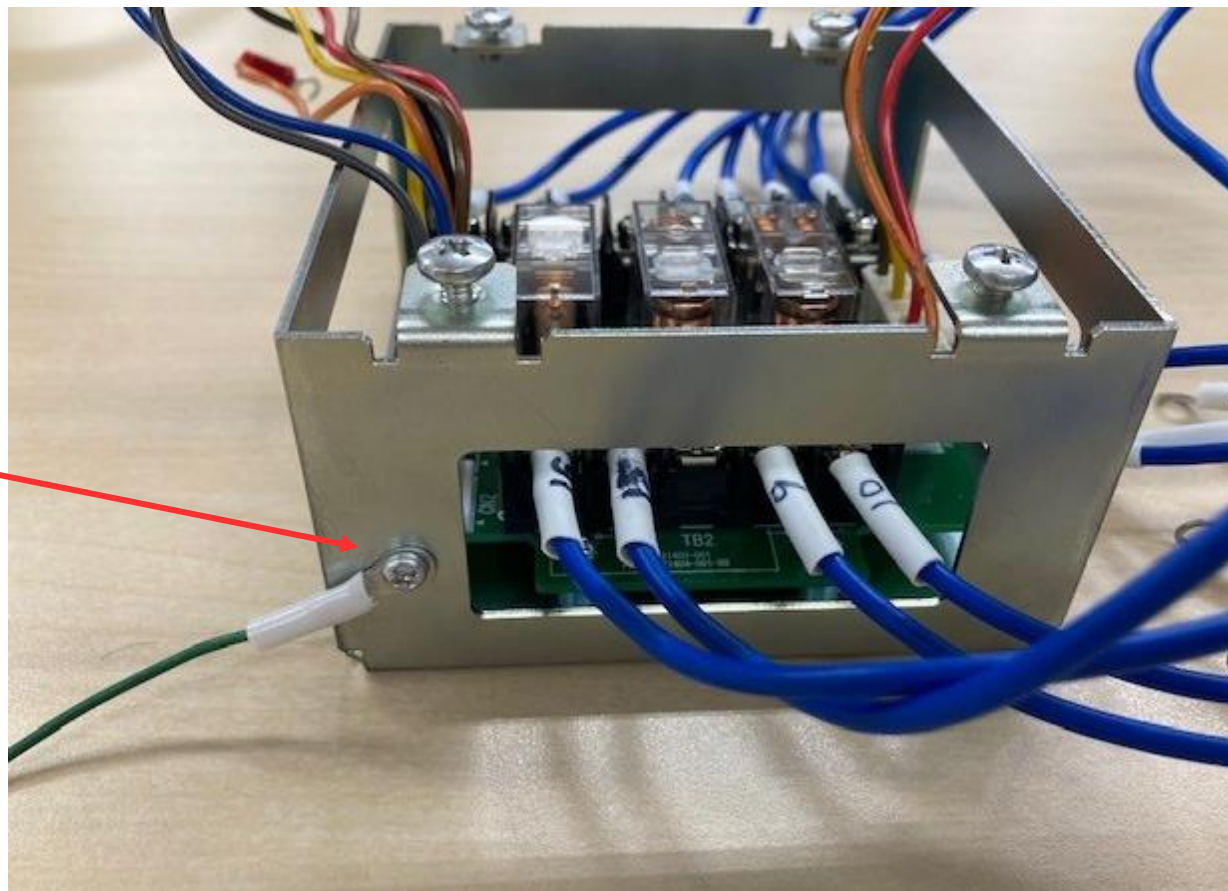


- ・コネクタの抜け防止のツメがロックされるまで確実に差し込んで下さい



## 6. 更新用ベースへアース線を接続

---



- ・ケースの下側にアース取付用のビスが在りますので、アース線を接続してください

## 7-1. カバーを取り付ける

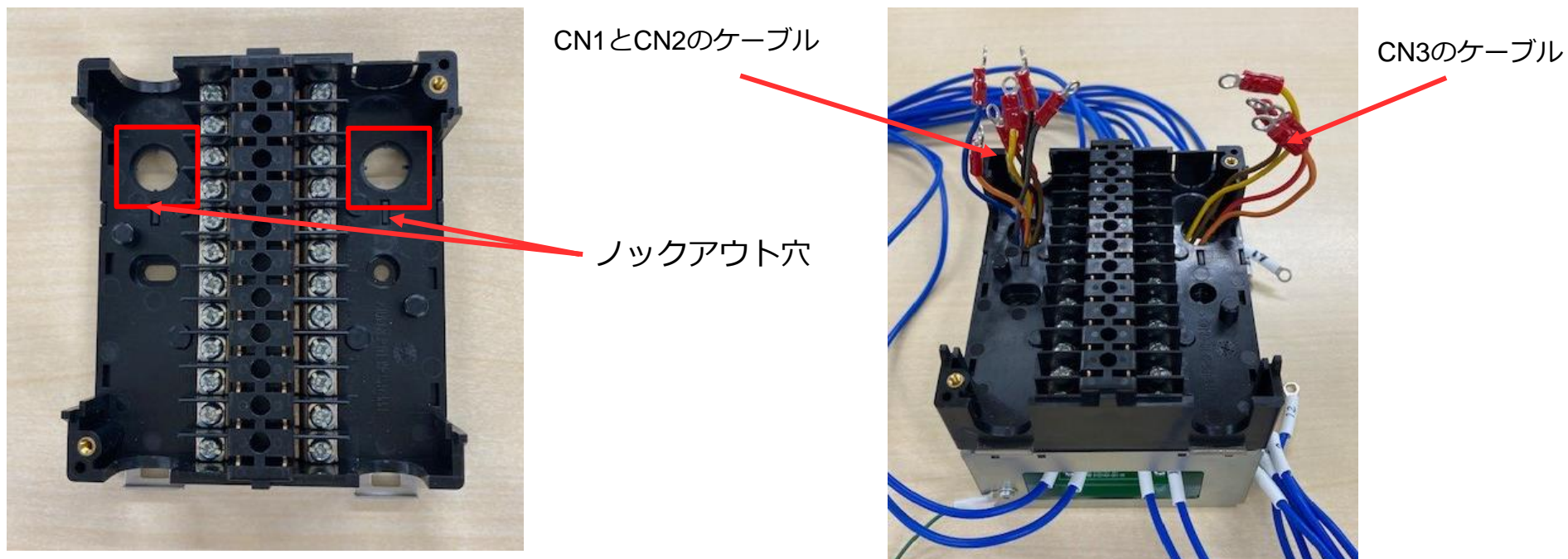
CN1とCN2のケーブル



CN3のケーブル

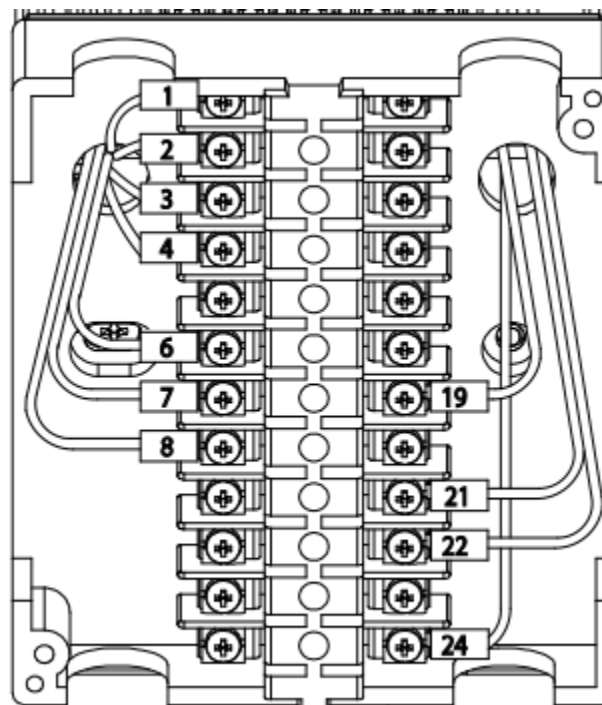
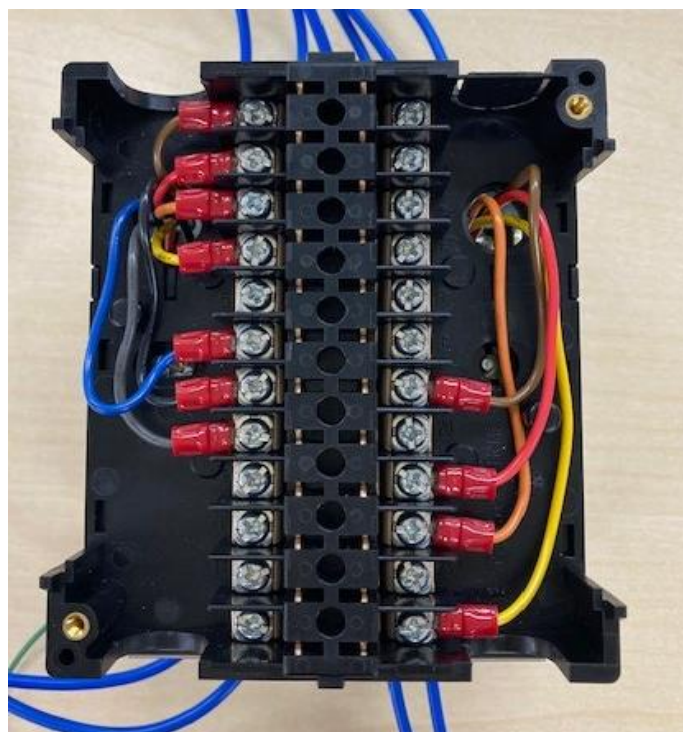
- ・コネクタケーブルをカバーの左右の穴に振り分けて引き出し、4個のネジでカバーを固定する

## 7-2. 形 : AUR455のベースを取り付ける



- ①底面の左右2箇所のロックアウト穴を開けてください
- ②それぞれの穴にケーブルを通し、DINレールに取り付けてロックしてください

## 7-3. コネクタケーブルを形 : AUR455のサブベースに配線する



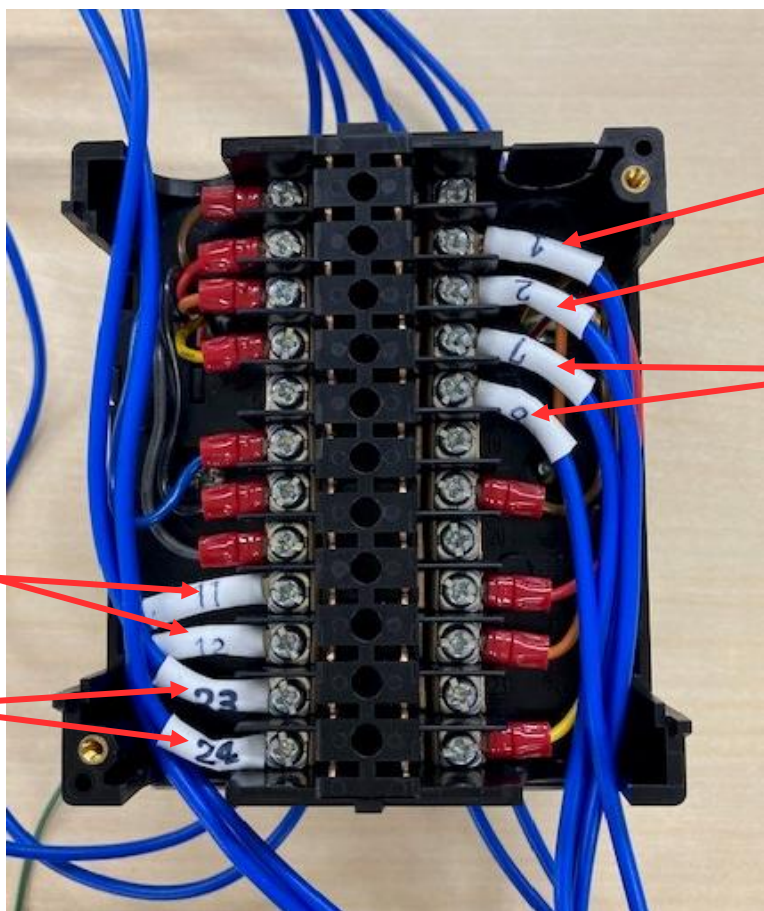
配線表

ケーブル組立 (ピン番号)	端子台ユニット (端子番号)	ケーブル色
CN1 ケーブル組立品 9種		
1	4	黄色
2	NC	-
3	1	茶色
4	NC	-
5	2	赤色
6	NC	-
7	3	橙色
8	NC	-
9	7	黒色
CN2 ケーブル組立品 3種		
1	8	灰色
2	NC	-
3	6	青色
CN3 ケーブル組立品 7種		
1	19	茶色
2	NC	-
3	24	黄色
4	NC	-
5	21	赤色
6	NC	-
7	22	橙色

※実際の製品のケーブルには端子番号と  
同じ番号のマークチューブが付いています

- ・ マークチューブの番号通りに配線してください

## 7-4. 既設ケーブルの残りを形：AUR455のサブベースに配線する



アドバンストUVセンサ (F)

アドバンストUVセンサ (G)

アドバンストUVセンサ (シャッタ)

アラーム出力

フレーム  
モニタ出力

- ・上記配線がおわりましたら、  
形：AUR455本体を組付けて完了です。

対応表

AUR450ベース (リブレース元)		AUR455ベース (本器)	端子台ユニット (AUR455側)
端子番号	端子機能	端子番号	端子番号
1	アドバンストUVセンサ (F)		14
2	アドバンストUVセンサ (G)		15
3	使用禁止		
4	使用禁止		
5	使用禁止		
6	使用禁止		
7	アドバンストUVセンサ (シャッタ)		16
8	アドバンストUVセンサ (シャッタ)		17
9	外部リセット入力	9	
10	外部リセット入力	10	
11	アラーム出力		9
12	アラーム出力		10
13	電源 高電位側 (L1)	13	
14	電源 低電位側 (L2 (N))	14	
15	起動接点入力	15	
16	起動接点入力	入力コモン	
17	インターロック入力		
18	インターロック入力	18	
19	点火トランス	19	
20	主弁	20	
21	重複パイロット弁	21	
22	時限パイロット弁		
23	フレームモニタ出力		11
24	フレームモニタ出力		12

## その他注意事項

---

**形：AUR455-BUは、形：AUR450Cの機能代替として開発しております。  
そのため、以下 形：AUR455の新機能は使用できません。ご了承願います。**

**形：AUR455の機能にある出力フィードバックの監視は行われません。**

**形：AUR455-BUでは、IG,PV,MVの出力フィードバック回路が接続されないためです。**

**点火トランスや遮断弁の故障、配線異常等の診断はできません。（端子電圧矛盾の機能）**

**尚、形：AUR450Cの機能を損なっているわけではありません。**